

JESCO 豊田PCB廃棄物処理事業だより(No.183)

1. 豊田PCB廃棄物処理施設 春期定期点検のご報告

豊田PCB廃棄物処理施設では、6月10日(月)から6月28日(金)まで、PCB管理エリアの給排気停止を含め19日間をかけて春期定期点検を実施しました。

●災害防止協議会の開催

定期点検に先立ち、5月29日(水)に作業を実施する各社の現場監督者等が一堂に会して、「災害防止協議会」を開催しました。

この協議会は、定期点検の作業に伴う事故や災害、PCB等の有害物質の施設外への漏洩といったトラブルを発生させないことを目的に開催しており、PCB廃棄物処理施設特有の作業ルールの徹底と、過去に起きた不具合事象を例示して、安全対策の確実な実施を確認しました。

また、この定期点検の間中は、週1回のペースで安全パトロールを実施し、作業が安全に行われているか、漏洩や事故の危険が潜んでいないかを、作業現場で直接確認し、必要に応じて改善しています。



●実施作業

◆インライン計装品等交換

処理施設内の各設備には、運転状況を把握するための計測器が設置され、温度・圧力・流量等を計測し、それを中央制御室で監視・制御しています。これらの計測器は長年の使用により誤差が生じたり、動作が不安定になったりするため、交換・調整等が必要となります。春期定期点検ではこれらの計測器を順次交換・調整し、各設備が正常に運転できるようにしています。写真は蒸留設備の圧力伝送器(内部の圧力を検出して中央制御室に信号を送る)の交換及び動作確認作業の様子です。



◆第2系統排気ファンモーター交換

処理施設内には多くの給排気設備が設置されています。これらの給排気設備は作業場所の環境を維持すると共にPCBを含んだ空気を外部に出さないための負圧管理に重要な役割を担う設備です。写真の第2系排気ファンは、モーターから異音が発生している事がわかり、モーターを交換しました。今後も定期的に点検と整備を実施し、作業環境及び周辺環境の維持に努めてまいります。

2. 産業医による健康講話を聴く

豊田事業所では社員の健康管理の一環として、産業医による健康講話を定期的を実施しており、本年度第1回目を6月25日(火)に開催しました。



今回のテーマは「ストレスと食生活」でした。ストレスと肥満・やせの関係性やストレスを軽減する食生活についての講話を受けました。

「1日に野菜や果物を5つ食べましょう」という5 a day運動や、不安を和らげる食べ物の話などを聞き、ストレス改善のためには食生活が密接に関係していることがわかりました。

3. 施設見学について

令和元年度第1四半期の施設見学者数

	4月	5月	6月	計
団体数	4団体	4団体	2団体	10団体
見学者数	24名	50名	47名	121名

市民の皆様を始め、保管事業者、行政の方々や各種団体など、多くの方々に当施設をご見学いただき、PCB廃棄物の処理状況等について理解を深めていただいております。

多くの方のご見学をお待ちしています。

施設見学をご希望の方は下記【豊田PCB処理事業HP】をご参照のうえ、0565-25-3110までお問い合わせください。



デジ丸

中間貯蔵・環境安全事業株式会社 (JESCO)

豊田PCB処理事業所 電話：0565-25-3110 FAX：0565-24-0543

【豊田PCB処理事業HP】 <https://www.jesconet.co.jp/facility/toyota/index.html>

問い合わせ先

アザラシのびーちゃん

